

■畑地かんがいによる土壌風食の抑制 ～散水時期の推定方法～ （関連資料）

農地基盤工学研究領域 畑地工学担当主任研究員 宮本輝仁

○関東地方で春先に起こる土ぼこりの様子

畑からの土ぼこりにより道路の視界が悪くなったときの写真です。貴重な作土の消失に加え、風下側では飛土によって生活環境面にも影響が出てきています。



○簡易試験法による実験の様相

風の強さと土壌の飛散状況について、土壌水分量を変えて測定しました。これにより、土壌水分量と土壌が飛散するときの風速の関係が得られます。



○現地観測による確認

簡易試験法により得られた土壌水分量と土壌が飛散するときの風速の関係について、現地観測を行って有効性を確認しました。

初年目は地上 20cm と 50cm の高さで飛土観測と地表付近の土壌水分観測を行いました。



2年目には地上 20cm で飛土観測を行う地点を増やし、現地観測を行いました。

飛土を捕捉するため現地に設置した集土器は、次の文献に基づいて製作しました。

